

議会が **もっと** / 近くなる

# 市民の声



これからの  
燕市に期待

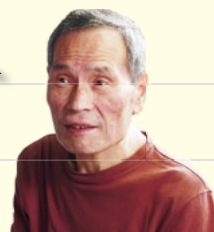
関喜一さん・芳江さん  
(西太田)

議会やホームページを見たことはありませんが、議会報は読んでいます。

磨きの仕事についての数十年前、ほかにもしたい仕事はありましたが、当時は人と人のつながりがとても大切にされていて、ご縁で関わった磨きの仕事を選ばないわけにはいきませんでした。

現在の磨きの業界は若い人がいないので、企業には会社の中で磨きの技術者を養成してほしい。議会には、企業の意欲を刺激する取り組みを行ってほしいですね。

磨きを始めて55年



樋口 勲さん (宮町)

議会の傍聴はしたことがないけど、議会報は見る時もあり、興味はありますよ。20歳から洋食器の磨きを始めて55年。普段から同業者と情報交換をしていますが、若い人を育てていくためには、企業側にも意識を変えていく努力が必要じゃないでしょうかね。

思い切って  
飛び込みました！



田中雄一郎さん  
(磨き屋一番館研修生)

観光の専門学校を出て、関連会社の事務をしていましたが、物足りなさを感じていました。そんな時、磨き屋一番館の研修生の募集を知り、思い切って飛び込みました。

現在3年生なので、どういう会社が自分を必要としてくれるのか検討していきたいです。将来は一職人として、燕の産業発展の一翼を担えるような人間になりたいです。

毎号見えています



川崎栄治さん (八王寺)

傍聴は数回行ったことがある程度ですが、議会報は毎号見えています。議員間の意見交換を通して修正を求められるくらいの連携と、議員1人ひとりが力をつけていただいて、市民のために仕事をしてもらいたいね。

40年前から研磨業を営み、「磨き屋」のイメージをよくしたいとの思いで、自ら「磨き屋栄治」の看板を掲げています。長男が事業を継いだこともあり、今後は好きな映像関係を通して地域の発展に貢献していきたいと思っています。

ごまかしのない  
仕事を…



遠藤一成さん (殿島)

きっかけは、一流の職人さんの働く姿が格好よかったからです。

磨き屋一番館で基本を教えてもらいましたが、後は自分が技術を盗んで取り組んできました。「工賃に応じた仕事をするという意識が大事」と教えられましたが、自分としては、ごまかしのない仕事をしていきたいですね。

## 今号の表紙

暑い日が続きますね。そんな夏の食べ物と言えば、やっぱりスイカです。今号のノートブックを読んでいた市民の中から1000人にスイカをごちそうします・・・？  
こんなサービスができればいいなと、本当に思っている編集委員たちです。イラストでごめんなさい。

スマートフォンやタブレット端末からアクセスできます



## 編集後記

月刊「広報」でノートブックを取り上げていただいたおかげで、さっそく須賀川市の議会報委員が視察に訪れました。反響の大きさにビックリです。彼らの真摯な姿勢は、質問の多さで伝わってきました。ノートブックが他市のお手本になるよう、頑張っていかなばと強く思った私でした。 齋藤信行

### 【議会報等特別委員会】

委員長：渡邊雄三 副委員長：齋藤紀美江  
委員：小林由明 樋浦恵美 タナカ・キン 長井由喜雄 齋藤信行